
IV 地域別の主な事業

1	地域別主要指標	257
2	北九州地域	258
3	福岡地域	259
4	筑後地域	260
5	筑豊地域	261

1 地域別主要指標

本県は、九州最大の工業・技術の集積を誇る北九州地域や、西日本の中枢拠点として経済発展が進む福岡地域、農業や地場産業、商工業が盛んな筑後地域、そして自動車産業の集積、理工系大学との連携を活かし、新たな産業展開が進む筑豊地域と、それぞれ特性をもつ地域によって構成されています。今後、これらの地域間相互の連携を図りながら、それぞれの地域が培ってきた潜在能力を最大限に活かして、個性ある地域をつくっていくことが必要です。

また、活力ある地域づくりを進めるためには、地域が知恵を発揮することが求められており、地域リーダーの掘りおこしや人材育成を図り、地域の力を結集していくことが重要になっています。

地 域 別 主 要 指 標

		北九州	福岡	筑後	筑豊	全 県
総 人 口	実数 人	1,254,893	2,691,573	794,614	397,811	5,138,891
	構成比 %	24.4%	52.4%	15.5%	7.7%	100.0%
世 帯 数	実数 世帯	567,971	1,259,116	318,909	170,015	2,316,011
	構成比 %	24.5%	54.4%	13.8%	7.3%	100.0%
製 造 品 出 荷 額 等	実数 億円	39,000	19,979	12,017	18,522	89,519
	構成比 %	43.6%	22.3%	13.4%	20.7%	100.0%
商 品 販 売 額	実数 億円	31,269	160,717	16,771	5,650	214,407
	構成比 %	14.6%	75.0%	7.8%	2.6%	100.0%

資料

・人口、世帯数は総務省統計局「令和2年国勢調査」

・製造品出荷額等は県調査統計課「令和3年経済センサス活動調査 産業別集計(製造業)に関する集計(確報詳細版・福岡県分)

・商品販売額は総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査 産業別集計(卸売業、小売業)に関する集計」

注：四捨五入の関係により、計が一致しない場合がある。

2 北九州地域

この地域は、九州で最も高い工業集積、技術集積を有しています。鉄鋼、化学などの基礎素材型産業に加えて、自動車、先端半導体、ロボットなどの加工組立型産業の集積が進み、蓄積された「ものづくり技術」を活かして地域の活性化が図られています。

また、深刻な公害問題を克服した経験や技術を活かし、我が国最先端の環境産業の集積や循環型の都市づくりが進んでいます。地域産業の知的基盤となっている北九州学術研究都市には、先端科学の教育や研究開発を行う大学や研究機関が集積しています。

平成17年には大水深バースを備えたひびきコンテナターミナルが整備され、18年には24時間運航可能な北九州空港が完成するなど、アジアの物流拠点として基盤整備が進んでいます。

主な事業・計画

事業名	計画期間	概要
交通基盤		
東九州自動車道の機能強化		福岡県域約48km(北九州市～上毛町間)供用中(椎田道路活用区間を含む)※苅田北九州空港IC以南(約39km)は暫定2車線(苅田北九州空港IC～行橋IC間のうち約1.1km区間は4車線供用済、みやこ豊津IC～椎田南IC約8.9kmについては4車線化事業中)
幹線道路の整備		一般国道3号、201号、496号 主要地方道門司行橋線、直方芦屋線、犀川豊前線、苅田採銅所線等
港湾の整備		一般県道中間水巻線、原海老津線、岡垣宗像線、畦町村山田線、吉富港線等
空港の整備		北九州港、苅田港
		北九州空港の整備
		北九州空港の滑走路を大型貨物専用機の長距離運航が可能となる3,000mへ延長
産業基盤		
農業生産基盤の整備		ほ場整備事業、農業水利施設保全対策事業
農村環境の整備		農村総合整備事業
農地等保全の整備		ため池等整備事業、海岸堤防等老朽化対策緊急事業、地すべり対策事業
林業基盤の整備		林道:国見山線、豊前耶馬溪線
漁業基盤の整備		近代化施設の整備、漁場の造成等
リサイクル総合研究事業化センター事業	H13～	産学官民の共同体制によるリサイクルシステムの研究開発事業
水素グリーン成長戦略事業	R4～	水素需給のポテンシャルが高い「北九州市響灘臨海エリア」を中心とした水素供給拠点の構築に向けた取組
北部九州自動車産業グリーン先進拠点の形成	R4～	自動車関連企業電動化参入支援センターによる地元企業の電動化支援、地元企業のCASE等関連技術の開発支援、取引拡大支援
教育・文化・研究基盤		
世界遺産の保存・活用		世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の資産の保存管理、理解促進
北九州学術研究都市構想の推進		先端科学技術に関する教育と大学や研究機関の集積促進
福岡県特別支援教育推進プラン	R4～R8	障がいのある子どもの自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進
生活基盤		
街路事業		芦屋水巻中間線、行橋停車場線等
流域下水道事業	H7～	遠賀川下流
土地区画整理事業		折尾(北九州市)、旦過(北九州市)
再生可能エネルギー等導入促進事業	H24～	地域資源を活用した再生可能エネルギー等の導入を支援し、エネルギー源の多様化・分散化を推進

3 福岡地域

この地域は、九州の管理中枢機能や第3次産業の集積が進み、西日本のリーディングゾーンとして発展してきました。

大都市の活力を持ちながら、良好な自然・居住環境をもった住みやすく、魅力ある、質の高い生活空間を創造し、アジアにおける人・モノ・情報の交流拠点を目指すふくおかアジア交流大都市圏構想を推進しています。また、九州大学伊都キャンパスを核とした学術研究都市づくりを推進するとともに、水素による「グリーン成長」を図る「福岡県水素グリーン成長戦略」や有機光エレクトロニクスの実用化、半導体人材の育成など先端成長産業の育成・集積に取り組んでいます。

平成17年には九州国立博物館が開館し、多くの人々が訪れるアジアの文化交流拠点となっています。23年には九州新幹線が全線開通したほか、令和7年には福岡空港の第2滑走路の供用が開始されました。また、大水深、コンテナ時代に対応した博多港の整備など国際交通基盤の整備も進んでいます。

世界遺産登録に向けて取り組んできた「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、平成29年7月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。

主な事業・計画

事業名	計画期間	概要
交通基盤 西九州自動車道 幹線道路の整備		今宿道路(延長17.5km、うち14.5km供用中) 一般国道3号、201号、322号、385号、386号、497号、500号 主要地方道 福岡東環状線、筑紫野古賀線、八女香春線、久留米筑紫野線、飯塚大野城線 等 一般県道 山口原田線、薦野福間線、瑞梅寺池田線 等
港湾の整備 連続立体交差事業 福岡高速3号線延伸	H15～R3～	博多港 西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)約3.3km 福岡空港の機能強化が進められている中、福岡市南部地域や太宰府IC方面からの国内線旅客ターミナルへのアクセス改善と空港交差点をはじめとする周辺道路の混雑緩和を図る。
産業基盤 農業生産基盤の整備 農村環境の整備 農地等保全の整備 林業基盤の整備 漁業基盤の整備	R4～	ほ場整備事業、農業水利施設保全対策事業 農業集落排水水事業、農村総合整備事業、水環境整備事業 ため池等整備事業、農地湛水対策事業 林道:高木線、小葉山線、五駄・土師山線、第3雷山浮嶽線 近代化施設の整備、漁場の造成 等
水素グリーン成長戦略事業		水素材料先端科学研究センター・水素エネルギー製品研究試験センター・次世代燃料電池産学連携センターによる産業化支援、福岡水素エネルギー人材育成センターによる技術者の育成
北部九州自動車産業グリーン先進拠点の形成	R4～	自動車関連企業電動化参入支援センターによる地元企業の電動化支援、 地元企業のCASE等関連技術の開発支援、取引拡大支援
有機光エレクトロニクス開発拠点化事業	H24～	有機光エレクトロニクス実用化開発センターによる新たな有機EL材料の実用化研究及び有機EL分野の産業化の推進 等
半導体人材の育成	R5～	福岡半導体リスクリングセンターによる半導体分野やデジタル産業分野の重要技術に精通した人材の育成
半導体研究開発支援	R7～	福岡超集積半導体ソリューションセンターによる三次元実装やチップレット集積等の設計、試作、評価解析、実証の一貫した支援(前身の三次元半導体研究センターと社会実証システムセンターはH23年から企業の半導体研究開発を支援)
教育・文化・研究基盤 九州大学学術研究都市構想の推進	H10～	九州大学伊都キャンパスを核とした学術研究都市の形成
世界遺産の保存・活用 福岡県特別支援教育推進プラン	R4～R8	世界文化遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の資産の保存管理、理解促進 障がいのある子どもの自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進
生活基盤 街路事業 流域下水道事業 土地区画整理事業 再生可能エネルギー等導入促進事業	S46～ H24～	粕屋久山線、那珂川宇美線 等 御笠川那珂川、多々良川、宝満川、宝満川上流、筑後川中流右岸 下大利駅東(大野城市)、三代(新宮町) 地域資源を活用した再生可能エネルギー等の導入を支援し、エネルギー源の多様化・分散化を推進

4 筑後地域

この地域は、豊かな自然と農林水産業や地場産業、商工業などの多様な産業、文化、さらに個性ある都市群など、魅力に満ちた地域です。しかし、就業機会の不足などによる長期の人口流出、高齢化の進展など厳しい状況にあります。このため、都市機能の充実や農業をはじめとする多様な産業の展開など地域特性を活かした活性化が求められています。

大牟田地域では、平成9年の三池炭鉱閉山に伴い、石炭産業に代わる新しい産業として、環境・リサイクル産業の集積に取り組み、大牟田エコタウンでは、RDF発電や廃家電から希少金属を取り出すレアメタルリサイクルなど環境産業の展開を図っています。

この地域には、久留米駅、筑後船小屋駅、新大牟田駅の3つの九州新幹線駅があり、これを定住人口や交流人口の拡大につなげていく必要があります。25年4月には筑後船小屋駅がある筑後広域公園内に九州芸文館が開館し、芸術文化関連団体やまちづくり団体等と連携を図りながら、芸術文化・体験・交流など様々な事業を展開し、公園や地域の魅力を発信しています。

有明海沿岸道路や三池港などの交通・物流基盤や、筑後広域公園、流域下水道などの生活基盤の整備を進め、地域の振興と良質な居住環境の整備に努めています。

主な事業・計画

事業名	計画期間	概要
<u>交通基盤</u> 高規格道路 幹線道路の整備	H6～	有明海沿岸道路(熊本県荒尾市～佐賀県鹿島市延長約61.9km、うち39.2km供用中) 一般国道3号、210号、322号、442号、443号 主要地方道 鳥栖朝倉線、大牟田川副線、久留米柳川線、八女香春線、久留米筑紫野線、瀬高久留米線、南関大牟田北線、八女瀬高線、高田山川線、甘木田主丸線、三潴上陽線、田主丸黒木線、諸富西島線、久留米立花線 等 一般県道 柳川筑後線、柳瀬筑後線、岩野黒木線、水田大川線 等
港湾の整備		三池港
<u>産業基盤</u> 農業生産基盤の整備		ほ場整備事業、農業水利施設保全対策事業 排水対策特別事業、畑地帯総合整備事業
農村環境の整備 農地等保全の整備		中山間地域農村活性化総合整備事業、農村総合整備事業、農業集落排水事業、水環境整備事業 ため池等整備事業、防災ダム事業、農地湛水対策事業、海岸堤防等老朽化対策緊急事業、地すべり対策事業
林業基盤の整備 漁業基盤の整備		林道:千々谷～滝の脇線、剣持～斜道線 近代化施設の整備、漁場の造成 等
大牟田エコタウン事業 福岡バイオバレープロジェクトの推進	H10～ H13～	RDF発電所、RDF化施設、エコサンクセンター、リサイクルプラザ、レアメタルリサイクル施設 福岡バイオインキュベーションセンター、福岡バイオファクトリー、福岡バイオイノベーションセンターを拠点としたバイオ産業の育成、集積
北部九州自動車産業グリーン先進拠点の形成	R4～	自動車関連企業電動化参入支援センターによる地元企業の電動化支援、 地元企業のCASE等関連技術の開発支援、取引拡大支援
<u>教育・文化・研究基盤</u> 世界遺産の保存・活用 福岡県特別支援教育推進プラン	R4～R8	世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の資産の保存管理、理解促進 障がいのある子どもの自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進
<u>生活基盤</u> 街路事業 広域公園整備	H7～	久留米駅南町線、堤上野線 等 筑後広域公園
流域下水道事業 市街地再開発事業	S59～ H29～	宝満川、筑後川中流右岸、矢部川 JR久留米駅前第二街区(久留米市)、新栄町駅前地区(大牟田市)
再生可能エネルギー等導入促進事業	H24～	地域資源を活用した再生可能エネルギー等の導入を支援し、エネルギー源の多様化・分散化を推進
福岡ソフトバンクホークスファームを活用した地域振興事業	H27～	福岡ソフトバンクホークスファーム本拠地の開業を契機に、筑後七国等と連携したイベントを開催

5 筑豊地域

この地域は、石炭産業の衰退による経済的、社会的疲弊を解消するため、産業基盤や生活環境の整備が進められ、地域は大きく転換しようとしています。

自動車産業の立地が進み、最先端の電磁波測定施設を有する ADOX 福岡や自動車産業を支える人材育成も活発に行われるなど、産業構造は大きく変わりつつあります。

理工系大学を中心にベンチャー企業や研究機関の集積を図り、新たな産業創出の拠点づくりを目指す飯塚トライバレー構想も進められています。

地域が一丸となって、筑豊農業の活性化に取り組み、おいしい米作りや特産のトルコギキョウ、野菜や果樹の生産が進められています。

地域活性化インターチェンジやスマートインターチェンジ、国道 200 号、201 号バイパスの整備により福岡、北九州両都市圏との交通ネットワークも飛躍的に向上し、筑豊緑地や下水道など生活環境の整備も進んでいます。これらを活用し、定住人口や交流人口のさらなる拡大を進めていく必要があります。

主な事業・計画

事 業 名	計画期間	概 要
<u>交通基盤</u> 幹線道路の整備		一般国道 201号、322号 主要地方道 中間宮田線、直方芦屋線、飯塚福間線、田川直方線、直方宗像線、田川桑野線、室木下有木若宮線、福岡直方線、直方行橋線、北九州小竹線、行橋添田線 等 一般県道 飯塚穂波線、直方鞍手線、千手馬見線、小竹穎田線、英彦山香春線、豆田稻築線 等
<u>産業基盤</u> 農業生産基盤の整備 農村環境の整備 農地等保全の整備 林業基盤の整備 たがわ情報センター事業	H14～ H15～ H14～ R4～R6 R4～	ほ場整備事業、農業水利施設保全対策事業 農村総合整備事業、農業集落排水事業 ため池等整備事業、湛水防除事業、地すべり対策事業 林道:豊前坊線、熊ヶ畠・安真木線 地域の情報拠点としての、地域の情報発信、地域の情報化支援及び情報通信関連産業の誘致育成
飯塚トライバーレンターセンター事業 直鞍産業振興センター事業 水素グリーン成長戦略事業 北部九州自動車産業グリーン先進拠点の形成		産学官連携、インキュベート施設を活用した、情報関連ベンチャー企業の創業・育成支援や企業誘致の促進 電子機器の電磁波対策を行うための国際認証を受けられる計測施設の活用 日田彦山線BRTにおけるFCバスの運行実証支援 自動車関連企業電動化参入支援センターによる地元企業の電動化支援、 地元企業のCASE等関連技術の開発支援、取引拡大支援
<u>教育・文化・研究基盤</u> 飯塚研究開発センター事業 福岡県特別支援教育推進プラン	H4～ R4～R8	大型研究プロジェクトや産学官共同研究、コーディネータによる技術支援・マッチングの推進 障がいのある子どもの自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進
<u>生活基盤</u> 街路事業 流域下水道事業 再生可能エネルギー等導入促進事業	H7～ H24～	新飯塚潤野線、境口鴨生田線 等 遠賀川下流、遠賀川中流 地域資源を活用した再生可能エネルギー等の導入を支援し、エネルギー源の多様化・分散化を推進